

センターだより

第10号

平成28(2016)年3月9日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@suita.ed.jp

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

平成27年度 教育センター 事業報告

1 教職員研修

(1) 市教育センター研修 180講座

参加者 のべ5,580人 (2/29現在)

<一般研修講座> 150講座 参加者 のべ5,261人

- ア. 管理職研修(21講座)
 - ・校長、教頭、新任校長、新任教頭
- イ. ライフステージに合った研修講座(72講座)
 - ・初任者、新転任者、フレッシュ(新規採用養護教諭・幼稚園教諭、新規任用講師)・ステップアップ、ヤングリーダー、学校パワーアップ、10年経験者、スクールリーダー(首席・指導教諭・主幹・主査)
- ウ. 教育課題別研修講座(17講座)
 - ・教育課程、人権教育、生徒指導、教育相談、応急手当、国際理解、歴史探訪等
- エ. 教科・領域別研修講座(14講座)
 - ・授業づくり(理科実験・観察、ICT活用、スーパーティーチャーに学ぶ等)
 - ・小学校英語活動(基礎研修、授業研修)
- オ. 幼稚園教育研修講座(1講座)
- カ. 専門職等研修講座(9講座)
 - ・学校事務職員、栄養教諭、養護教諭、学校図書館担当者
- キ. 特別支援教育研修(16講座)
 - ・特別支援教育コーディネータ(共通4講座 選択9講座)、事例検討、支援学級合同研修
- ク. さつきらる一む(初任者教員等相談室)(延べ24回)
 - ・研究授業等に向けての相談、初任者等への訪問指導

<情報教育研修講座> 30講座 参加者 のべ 319人

- ア. システム管理 イ. 情報セキュリティ ウ. 情報モラル エ. 校内LAN・ICT機器活用
- オ. ホームページ・ブログの作成・活用 カ. 各種ソフト活用 キ. 栄養教諭・学校図書館担当者・校務員研修等



(2) 校内研修支援

- ア. 校内研修講師謝金 イ. 研修・大会参加負担金 ウ. 校内研修会指導助言
- エ. 中学校パッケージ研修支援(第二中学校 豊津西中学校 西山田中学校)

2 調査・研究

(1) 研究グループ活動

- ア. 発達理解研究 イ. ICT活用研究 ウ. 幼小中一貫教育カリキュラム研究

(2) 研究学校委嘱

- ア. 道徳教育 . . . 南千里中 イ. 言語活動 . . . 南山田小、吹田第三小、佐竹台小、豊津西中
- ウ. ICT活用 . . . 山田中 エ. その他 . . . 千里みらい夢学園

(3) 教育研究団体への支援

- ア. 吹田市小・中学校教育研究会 講師謝金 イ. 大阪府小・中学校教育研究会 分担金 ウ. 各研究協議会 分担金

3 教育資料の収集・発信

(1) 教育情報の収集・発信

- ア. センターだより(各月・特別号) 紀要110号(年度末に電子版で発行) 所報86号(年度末に発行) 要覧NO.22(毎年発行)
- イ. 教育資料等の充実・活用、検索システムの改善 情報教育用コンテンツの充実(ホームページの利用)

4 教育研究大会・教育研究報告会

- ア. 教育研究大会 1,394人の教職員が参加
教育研究大会として全体講演会を8月26日(水)に実施
- イ. 教育研究報告会 271人の教職員が参加
教育センター行事として1月27日(水)午後に実施。研究委嘱校、学研、研究グループ等の19団体が発表
- ウ. 保護者啓発講演会 1月27日(水)午前に講演会を実施。保護者等133人が参加

5 教育相談

- (1) 電話・来所相談 不登校、学習・発達、友人関係、いじめ、進路・就学、情緒・行動に関する相談に対応
- (2) 出張教育相談 全小学校に教育相談員またはSCを派遣し、子どもや保護者、教職員のニーズに対応
- (3) いじめのなやみ相談 (専用ダイヤル)

6 適応指導教室

- (1) 不登校児童・生徒支援事業 学校復帰を目標にした「光の森」活動、「学びの森」活動、「家庭訪問」活動の実施

7 特別支援教育

- (1) 巡回相談 幼稚園、小学校、中学校への巡回発達相談の実施
- (2) 教職員の指導力育成 特別支援教育研修 特別支援教育コーディネータ研修、事例検討研修、支援学級研修の実施
- (3) 保護者支援 保護者啓発研修、ペアレント・トレーニングの実施

8 進路選択支援

- (1) 進路選択支援相談 奨学金や貸付金等の進路選択に関する相談を通じた保護者等の支援

9 情報教育

- (1) 情報教育機器等の整備
ア. ICT機器の保守・管理、校内ネットワーク環境の保守・対応
- (2) SATSUKIネットの普及・運用
ア. 学校ホームページの管理・更新 イ. 教職員へのID、メールアドレスの配付による運用
ウ. 「校務なび」による学校間連絡体制 エ. サーバセンターを中心としたセキュリティ確保の一元化 等
- (3) 情報教育推進支援
ア. 情報教育推進委員会 (6回開催) イ. 情報教育研修の実施 (※教職員研修欄参照)

10 学校支援

- (1) 学校等支援者ボランティアネットワーク 登録者数 (1/31現在) : 797名
ア. エス・ネット イ. スクール・ボランティア ウ. 学校インターンシップ

平成28年度事業計画

1 教職員研修

- (1) キャリアステージに応じた研修の充実
初任者研修 (法定研修) 対象94名 (2/29現在) 10年経験者研修 (法定研修) 対象92名 (2/29現在)
ステップアップ研修 (I : 2年目 II : 3~5年目) ヤングリーダー研修 (10年研修前)
学校パワーアップ (10年研修後)
- (2) 校内研修支援
校内研修報償費 校内研修負担金 (希望に応じて配分を検討)
- (3) 教育研究大会
平成28年8月26日 (金) 午後 メイシアター大・中ホール 今日的な教育テーマで講演を予定
- (4) 保護者講演会
平成29年1月25日 (水) 午前 メイシアター小ホール
- (5) 教育研究報告会
平成29年1月25日 (水) 午後 メイシアター小ホール・集会室

2 教育課題調査研究

- (1) 教育センター研究グループ リニューアル検討中
- (2) 研究委嘱校 ※ () 内は年次
言語活動…南山田小学校 (2) 豊津西中学校 (2) その他…千里みらい夢学園 (2) ※数校を新規募集
- (3) 校内研究支援 中学校パッケージ研修

3 教育相談

- (1) 来所・電話相談 変更なし 出張教育相談 平成27年度の相談実績と学校のニーズを考慮し、派遣
- (2) 大阪府スクールカウンセラー 配置校以外の変更なし

4 適応指導教室

光の森活動・学びの森活動・家庭訪問活動…大きなシステム変更なし

5 特別支援教育

- (1) 全小学校巡回相談の実施 (小学校1年生スクリーニングの実施に向けて)
- (2) 特別支援教育Co. 研修 共通・選択研修 各4回以上受講

6 情報教育

- (1) タブレットパソコン活用の推進 活用研修、公開授業の実施 (2) 情報教育推進委員会
- (3) 学校図書館システム (4) 情報リテラシー、情報セキュリティの徹底 情報教育研修の充実

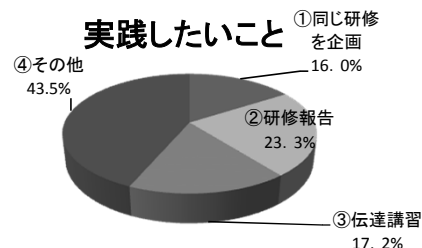
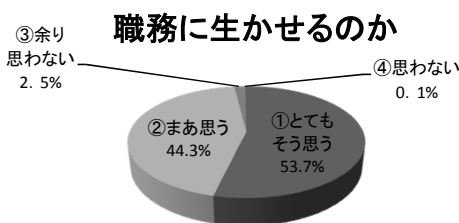
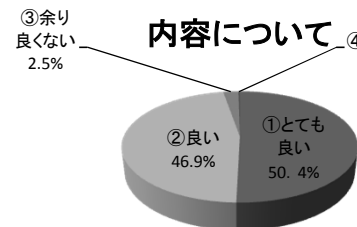
教職員研修

平成27年度は、グローバル教育や幼小中一貫教育などの吹田市の重点施策や、次世代リーダー育成・授業づくり研修などに重点をおき、合計の研修180講座を実施し、のべ5580人の参加がありました。(2月29日現在)

■ 平成27年度研修講座と参加者数(2月29日現在) 全講座数 180講座 参加者数のべ 5,580人

研修名	講座数		受講者数		研修名	講座数		受講者数	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度		今年度	昨年度	今年度	昨年度
管理職研修	21	24	942	996	教育課題別研修	17	14	477	437
スクールリーダー研修	6	6	188	173	英語教育研修	6	7	173	166
学校パワーアップ研修	4	4	33	50	授業づくり研修	8	14	586	501
10年経験者研修 ※選択研修は教育課題別研修へ	5	4	151	136	特別支援教育研修	16	14	907	842
ヤングリーダー研修	6	6	63	95	専門職研修	9	11	112	172
ステップアップ研修	18	21	892	878	幼稚園・小学校教育研修	1	1	68	11
初任者・フレッシュ研修	33	38	669	756	情報教育研修	30	34	319	448
					講座全体	180	198	5580	5661

■ 全体結果概要(計158講座 集計人数3,608人 回収率82.9%)

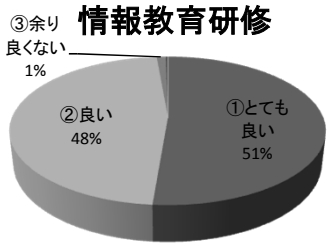
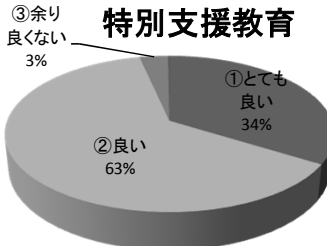
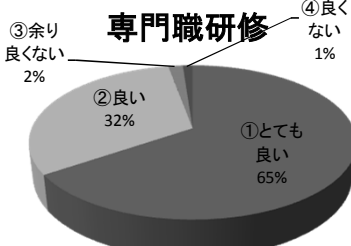
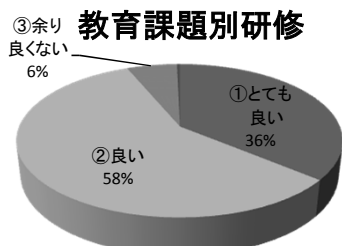
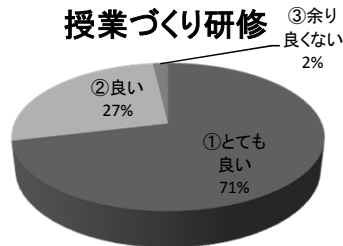
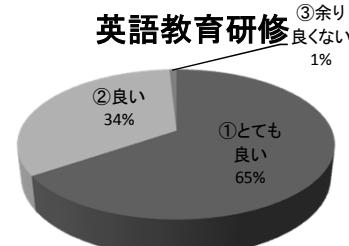
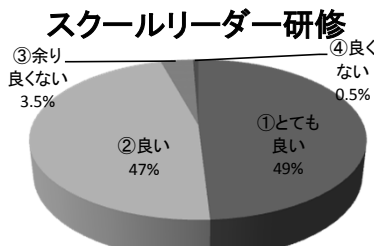
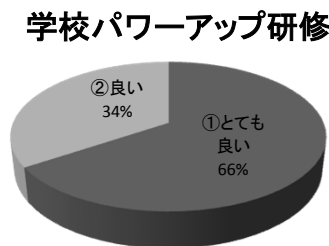
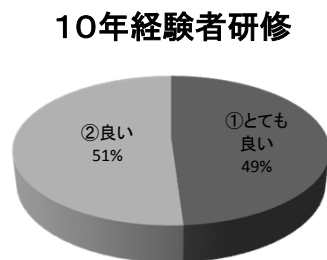
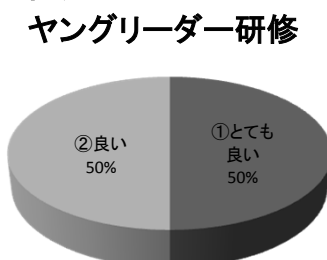
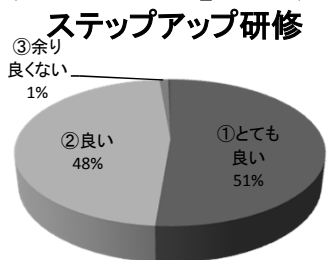
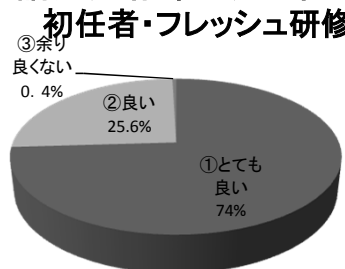


研修内容について、「良い」「今後の職務に生かそうだ」と98%の回答があり、昨年度同様の高い評価をいただきました。特に、初任者研修・学校パワーアップ研修・英語教育研修・授業づくり研修・専門職研修では、60%以上の方から「とても良い」と評価をいただきました。

また、研修の事後活用について、報告に留まらず、「同じ研修を企画」が9%、「伝達講習」が6.2%昨年度よりUPしており、積極的な各学校園での研修内容や情報の共有化に向けた取り組みへの意識を感じました。

他にも自由記述等でもたくさんの貴重な意見をいただきました。これらを参考にしながら、今日的な教育課題や各学校園のニーズを踏まえ、次年度の研修を準備していきます。研修へのご参加ありがとうございました。

■ 講座別結果(「内容はどうか?」に対する回答)



◆ 教育相談 ◆

1. 出張教育相談（小学校）・スクールカウンセラー（中学校）

平成27年度は、市内全36小学校を対象に、相談実績に応じて年間派遣回数を設定して教育相談員を派遣し、出張教育相談を行いました。また、中学校に対しては大阪府派遣のスクールカウンセラー（以下SC）が全18中学校に対して年間35回の教育相談を行いました。相談内容は保護者、児童生徒に対するカウンセリングや教職員との相談、校内会議における助言等です。2月末現在では小学校・出張教育相談が約2600回、中学校・SCでは約3500回の相談があり、特に発達障がい、不登校、心や身体に関する事等に関する相談を多く取扱いました。小学校では保護者相談が多いですが、中学校では生徒本人からの学校生活に関する相談も多く取扱っています。相談員・SCの生徒指導会議やケース会議への参加も増えています。

2. 来所相談・電話相談

教育センターにおける来所相談と電話相談では、2月末現在で合わせて約3200回の相談がありました。主訴は不登校、暴力行為、教職員との関係に関する相談が多く、電話相談から来所相談、または出張相談につながるケースも多く見られました。

3. 来年度に向けて

平成28年度も今年度にひきつづき、木曜日に夜間来所相談を実施します。出張教育相談においてはニーズ・実績に合わせて派遣形態や回数を設定します。教育相談を活用していただくために「吹田市立教育センターハンドブック」を各学校園でご活用ください。

◆ 不登校児童生徒支援事業 ◆

1. 適応指導教室の本年度の状況

平成27年度は、前年度と同様に「光の森」「学びの森」「家庭訪問活動」とそれぞれの適応指導教室の活動を実施しました。今年度の在室児童・生徒数は「光の森」が27名、「学びの森」は28名、「家庭訪問活動」は1名です。〔いずれも2月末現在。体験中児童・生徒含む。〕

本年度も各学校のご協力を得て、学校訪問や連絡会を通して、学校・家庭・適応指導教室が連携して子どもを支え、校内の適応指導教室との併用なども含めた在籍校への部分登校ができる児童・生徒が多く見られました。

2. 来年度へ向けて

子どもたちは適応指導教室に通いながら、他者との関わり方や自分の気持ちを表現することに少しずつ自信を取り戻し、少人数の安心して過ごせる環境の中で、確実に成長していきます。今後も自尊感情を育み、コミュニケーション力をつけながら、学校復帰、また社会的自立を目指して丁寧な支援を続けていきたいと思えます。今後も、長期欠席児童・生徒に対しては、適応指導教室だけでなく、「家庭訪問」活動も含めて、様々な学校支援を行っていきます。また学校はもちろん他の機関との情報共有や連携を図り、市全体としての不登校児童・生徒支援を進めていきます。